

やはは

議会だよ

227
2024.1.25
岩手県
矢巾町議会



みずきだんごづくり
～上赤林行政区子ども会活動～
(関連記事…P24)

議会で決めたこと

行政区設置条例を制定 2

ズバリ町政を問う 一般質問13議員

多岐にわたる活発な議論を展開 5

先進地に学ぶ 常任委員会視察報告

地域活性化へのチャレンジほか 19

過去の議案書などは
町議会ホームページに
掲載中



行政区設置に関する条例制定 行政区を41から45に

11月30日に開催された11月会議では、条例改正や一般会計補正予算などの6議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

また、12月5日から14日までに開催された12月会議では、条例制定や指定管理者の指定などを慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

議会で決めたこと

11月会議

補正予算

主な歳入

▽財政調整基金繰入金

49,718千円

主な歳出

▼国民保養センター維持管理
事業（食堂および休憩室の
増築に伴う設計業務委託）

1,320千円

条例の一部改正

人事院勧告に伴い

手当や給料など改正

一般職の職員の給与に関する法律の適用を受ける国家公務員の給与が、人事院勧告のとおり改正されることに伴い、これに準じて特別職職員の期末手当および一般職職員などの給与などを定める条例の一部改正を審議し、可決しました。また、在宅勤務等手当を国に準じ新設しました。

議員の期末手当

支給率をめぐる議論

町職員の手当や給与などを定める条例の一部改正を踏まえ、議員の期末手当の支給率を改正する議員発議がありました。反対議員もいましたが、賛成多数により可決しました。

討論

反対

昆 秀一議員

事前に町民に知らせ意見を得る必要がある。また、必ずしも人事院勧告に従う必要はないと考える。町民が苦しい中で、議員の期末手当額を増やすことは賢明な判断ではないことから反対する。

賛成

高橋 安子議員

人事院勧告は、現在の社会情勢などを考慮し、適切な額に調整されているものと認識しており、光熱水費などの高騰で生活が苦しい状況であることは議員であっても事実であることから賛成する。

12月会議

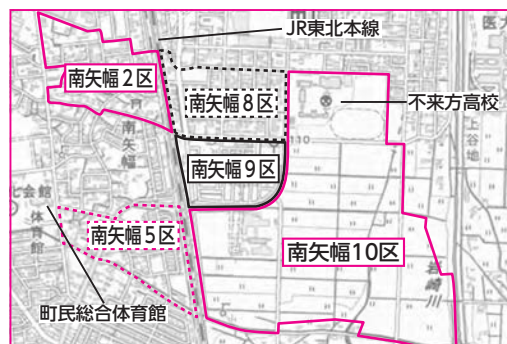
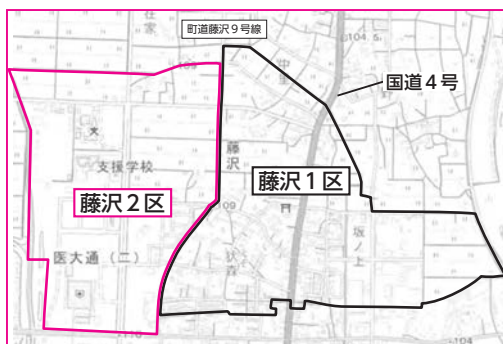
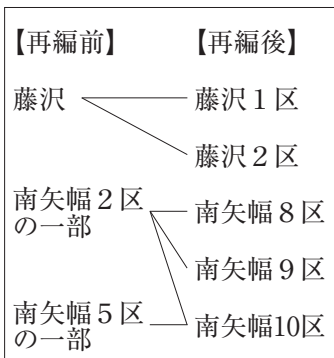
条例の制定

行政区を再編

行政区長制度の廃止に伴い、これまで行政区のよりどころとしていた「行政区長に関する規則」を廃止するため、新たに行政区に関する規定が必要となったことから「行政区設置条例」を制定しました。

この条例では、町政の円滑な運営と効率的な行政事務の執行を図るための区域を定め、現行の藤沢地区・南矢幅2区・南矢幅5区を再編し、全部で45の行政区を設置しました。

令和6年4月1日から施行されます。



再編後の区割り

12月会議

補正予算

主な歳入

- ▽個人町民税 40,015千円
- ▽固定資産税 68,708千円
- ▽障害者自立支援給付費負担金(国庫支出金) 11,857千円
- ▽障害者自立支援給付費負担金(県支出金) 5,928千円
- ▽障害児入所給付費等負担金(県支出金) 2,950千円
- ▽分収林売却収入 11,750千円
- ▽一般寄附金 1,107千円
- ▽まち・ひと・しごと創生寄附金(企業版ふるさと納税) 10,000千円
- ▽生活困窮者原油価格・物価高騰等特別対策事業費補助金(県補助金) 5,600千円



主な歳出

- ▽障害児通所給付費 11,000千円
- ▽障害児相談支援給付費 800千円
- ▽子ども医療費助成事業医療給付費 12,880千円
- ▽各種任意予防接種委託料 2,400千円
- ▽道路計画検討業務委託料 9,402千円
- ▽歴史民俗資料館事業工事業請負費(LED化工事) 5,584千円
- ▽住民税非課税世帯等に対する物価高騰対策給付費※ 149,100千円
- ▽生活困窮者原油価格・物価高騰等特別対策給付金 11,200千円

主な質疑

質問 障害福祉事業サービスについて、新規利用者が増えたのか。

回答 利用人数も若干増えているが、何度も繰り返し利用する方が増加傾向である。

質問 住民税非課税世帯などへの給付金はプッシュ型であると思うが、周知はどのように行うのか。

回答 広報紙や町ホームページに掲載する。

質問 住民税非課税世帯などへの給付時期は。

回答 本年度中を目途に事務を進める。

※詳細は、広報やはば令和6年1月号の25ページまたは町ホームページをご覧ください。



指定管理者の指定

児童館など11施設の指定管理者を指定しました。指定管理期間は3年間です。

管理施設	指定管理者
徳田児童館、煙山児童館、不動児童館	社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会 会長 藤原 義一
矢巾東児童館	特定非営利活動法人矢巾ゆりかご 理事長 半澤 久枝
矢巾斎苑	株式会社JAシンセラ 代表取締役 浅沼 清一
国民保養センター、介護予防拠点施設高齢者活動センター、屋内外ゲートボール場、町営キャンプ場	矢巾観光開発株式会社 代表取締役 高橋 昌造
矢巾勤労者共同福祉センター	一般財団法人盛岡地区勤労者共同福祉センター 理事長 内館 茂

みなさんからのお願い

パレスチナ自治区ガザ地区における即時かつ持続的な休戦を求める請願

請願者

矢巾九条の会

共同代表世話人

伊東 宗行、佐藤 征克

紹介議員

小川 文子、昆 秀一

全員賛成

採択

審査意見

戦闘開始から2カ月以上が経過。双方の応酬はガザ地区において多くの犠牲者を出すとともに市街地に甚大な被害をもたらしている。また、多くの一般市民や幼い子ども達が犠牲になっており、人道的見地から、一刻も早い紛争終結に向けた国の取り組みを求める本請願の趣旨は理解でき、採択すべきものとした。

各議案の採決状況

令和5年定例会11月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果			
		高橋 恵	高橋 敬太	横澤 駿一	ササキ マサヒロ	吉田 喜博	藤原 信悦	齊藤 勝浩	小川 文子	木村 豊	小笠原 佳子	山本 好章	高橋 淳一	水本 信一	村松 秀一		昆 丸秀	赤上 知子	
議案第71号	特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可
議案第72号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第73号	令和5年度矢巾町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第74号	令和5年度矢巾町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第75号	令和5年度矢巾町下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第77号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和5年定例会12月会議

議案第76号	矢巾町行政区設置条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第77号	矢巾町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第78号	矢巾町印鑑条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第79号	矢巾町民総合体育館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第80号	矢巾町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第81号	矢巾町空家等の適切な管理等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第82号	指定管理者の指定(徳田児童館)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第83号	指定管理者の指定(煙山児童館)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第84号	指定管理者の指定(不動児童館)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第85号	指定管理者の指定(矢巾東児童館)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第86号	指定管理者の指定(矢巾斎苑)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第87号	指定管理者の指定(国民保養センター・介護予防拠点施設高齢者活動センター・屋内外ゲートボール場)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第88号	指定管理者の指定(町営キャンプ場)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第89号	指定管理者の指定(矢巾勤労者共同福祉センター)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第90号	令和5年度矢巾町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第91号	令和5年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第92号	令和5年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第93号	令和5年度矢巾町下水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第94号	令和5年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)の訂正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第95号	矢巾町手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第96号	訴えの提起(町営住宅の明渡しおよび滞納家賃の支払請求)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第97号	令和5年度矢巾町一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第8号	パレスチナ自治区ガザ地区における即時かつ持続的な休戦に向けた取り組みを求める意見書提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決 否=否決 退=退席

注: 廣田清実議長は採決に加わらない。

議会で決めたこと

ズバリ 町政を問う

一般質問

一般質問は、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来の方針など諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。

12月会議では議員13人による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。掲載の質疑内容は、質問した議員の原稿によるものです。

●昆 秀 一 議員…………… P6

- ①矢巾町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画など
- ②がん対策
- ③子ども・子育て支援

●村 松 信 一 議員…………… P7

- ①令和6年度予算編成方針
- ②農業経営の在り方
- ③教育に係る予算編成方針

●小笠原 佳 子 議員…………… P8

- ①防犯カメラ助成制度創設
- ②学習用端末を活用した児童生徒の悩み相談
- ③矢巾町の活性化

●藤 原 信 悦 議員…………… P9

- ①矢巾町中小企業振興計画
- ②農業における人手不足、後継者問題に対する取り組み

●水 本 淳 一 議員…………… P10

- ①不動地区の活性化策
- ②野生動物の被害対策
- ③魅力的な「音楽のまち」

●高 橋 安 子 議員…………… P11

- ①若者の意見を町政に取り入れる考え
- ②「祝咲喜公園」・「さつき公園」の今後の対策
- ③少子高齢化での町営住宅・アパートの考え方

●高 橋 恵 議員…………… P12

- ①地域の要望・要請に対する対応
- ②消防団員の確保
- ③イベント開催時における熱中症対策

●赤 丸 秀 雄 議員…………… P13

- ①第8次矢巾町総合計画の策定
- ②ふるさと納税の取り組み強化
- ③町内移動の利便性向上の交通網整備

●木 村 豊 議員…………… P14

- ①プロロジスパーク盛岡竣工に伴う車両増加
- ②上水道の水質
- ③高齢者補聴器購入助成事業

●横 澤 駿 一 議員…………… P15

- ①人が集い繋がっていくまちづくり
- ②インクルーシブなまちづくりの実現
- ③持続可能な農政

●小 川 文 子 議員…………… P16

- ①ゴミゼロ宣言ができないか
- ②子どもの医療費助成全額無償化を
- ③児童館の日曜・祝日の利用
- ④農作物の高温被害・物価高騰対策は

●吉 田 喜 博 議員…………… P17

- ①指定管理者制度
- ②矢巾町合併70周年

●高 橋 敬 太 議員…………… P18

- ①持続可能な地域社会の構築を見据えた産業振興によるまちづくりの展望は
- ②矢巾町病児保育事業

一般質問通告書

YouTube

一般質問通告書などは、順次、町議会ホームページに掲載しております。
また、YouTubeで一般質問の様子をご覧くださいませ。



前期介護計画の評価・検証は 住民ニーズ調査など行っている



こん 昆 議員
しゅういち 秀一 (新誠会)

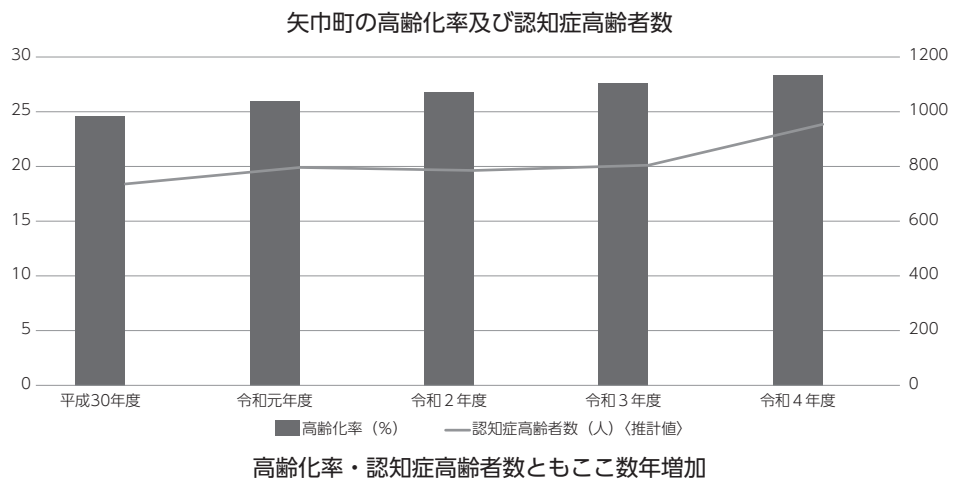
質問 現在の高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画をどのように評価・検証して、次期計画の策定に結び付けているのか。

町長 計画の評価については、住民ニーズ調査や介護事業所調査を行っている。加えて給付費の動向や地域支援事業などの取り組み状況を評価・検証することにより、次期計画では地域支援事業の充実などを強化し、取り組めるよう項目を精査している。

質問 第8次矢巾町総合計画との整合性は。

町長 8次総の基本理念を考慮し、施策の方向性に沿って計画内容の検討を行っている。

がん検診率向上 の取り組みは 全検診を一日で受診 できる体制を整備



質問 がん検診率の向上をどう図っているのか。

町長 昨年度から全てのがん検診と健康診査を集団から個別にし、一日で全ての検診を受けられる体制にしている。

質問 小中学校では、がんを含めた生活習慣病をどのように取り扱っているのか。

教育長 生活習慣病については、学習指導要領において小学校5・6年生と中学校の保健体育の授業で健康的な生活と病気の予防を学習する。

出生率の向上は 子育てに関する 無償化などを推進

質問 本町の出生率の向上をどう図っていくのか。

町長 出生率向上のため子育てに優しいまちづくりを進めている。子育て支援に必要な各種取り組みを総合的に勘案し、町全体として推進する。

質問 子どもの貧困についてどう考えているのか。

町長 子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることなく、全ての子ども達が夢や希望を抱ける社会の実現に向けた取り組みが大切であると考えている。

宅地造成地の固定資産税は 3カ所で2700万円程を予想



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾未来の会)

質問 ふるさと納税がより厳格となったが、返礼品や事業内容に変化はあるか。

町長 返礼品、事業者ともに変更や更新の必要性があり全体の見直しを検討中である。

質問 住民税の非課税世帯数は。また、宅地造成による固定資産の増収見込みは。

町長 非課税世帯は約2200世帯。宅地造成地区3カ所合わせて2700万円程度の増収を見込む。

質問 さわかハウスは災害時の避難場所に指定されているが、施設や設備について点検や更新に不備はないか。

町長 配電設備の更新を指摘されており、今後更新の時期を見定め対応をする。

質問 古い空き家にはアスベスト・PCBなどが含まれている可能性が高いが、周知の徹底が必要ではないか。また、調査費用を支援する考えはないか。

町長 アスベストの調査や諸

処理は事業者および発注者が行い、PCBの処理は県が行うこととなっている。

質問 町民への委嘱・委託や各種組織、諸団体への依頼事項は多岐にわたるが、必要な組織・役職・依頼内容・活動などを精査する時期では。

町長 町の事業に日常的に関



宅地造成地であるオアシスタウンやはば

一般質問 町政を問う

は80ほどあり、一概に見直しを行うことは難しい面もあるが、少子高齢化や時代の変化による事業内容の多様化・活動の担い手不足があり、見直しは必要と捉えている。

小規模農事組合 法人設立支援は

総合的に支援

質問 小規模法人設立への支援を強化する考えは。

町長 営農組合数全体に占める農事組合法人数が約3割で少ないため、小規模法人設立を歓迎し、支援したい。

ダブルレットの

活用は有効か

学びの定着に効果

質問 導入3年目のダブルレットは有効活用されているか。

教育長 自分の考えを入力し教師が瞬時に把握できる。理解度に応じたドリル問題への取り組みなどに有効活用。

防犯カメラの整備推進は 町としては考えていない



おがさわら よしこ
小笠原 佳子 議員
(公明党)

質問 犯罪を防ぐには地域の人の目が大切だが、高齢化や人間関係の変化で抑止力が低下している。

町民の不安解消と地域の防犯力向上の観点から防犯カメラ設置状況について伺う。
また、行政区で防犯カメラ設置要望があった場合の考え方は。そして、防犯カメラ付きの自動販売機を公募方式で新設導入できないか。

町長 防犯カメラは公共施設や不法投棄多発箇所に設置。

今までに行政区から要望はないが、設置の妥当性をコミュニティと相談し補助も含め検討する。自動販売機の新規設置の機会を捉え検討する。

質問 小中学校の防犯カメラの設置状況と不審者への対応について伺う。

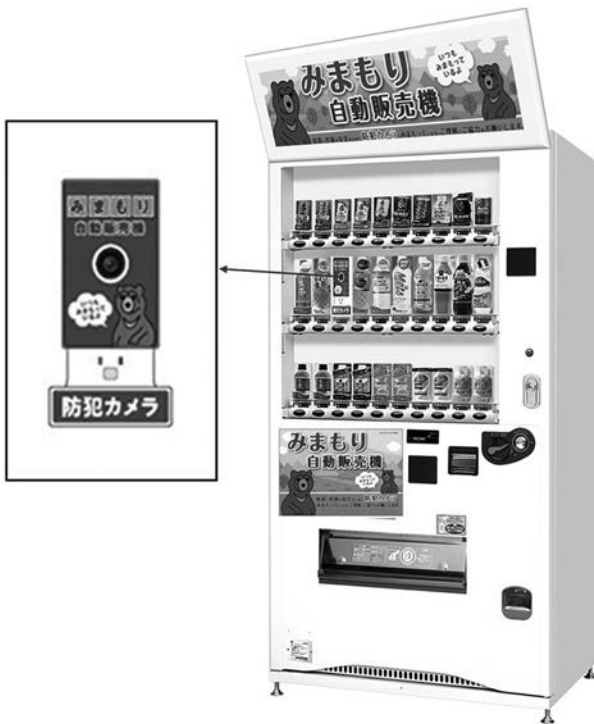
教育長 設置状況は6校中2校で設置している。

登校後は、昇降口や職員玄関を施錠し、来校者にはインターホンで対応している。また、不審者の侵入に備えて「さすまた」を設置し、安全管理に努めている。

学習用端末による悩み相談

情報収集に努める

質問 小中学校での悩み相談の現状と課題について伺う。
また、学習用端末を活用した児童生徒の悩み相談を新設する考えはないか。



防犯カメラ付きの自動販売機の一例

一般質問 町政を問う

教育長 相談を受けた学校は、スクールカウンセラーなどの専門職と連携して支援策を検討し、当該児童の心のサポートにあたる支援体制を構築している。課題として学校以外の相談窓口「ふれあいメール」

「24時間子どもSOSダイヤル」があり、児童が適切に選択できるような周知に努めることと捉えている。
学習用端末の悩み相談については他の自治体における導入の成果と課題などの情報収集に努める。

矢巾町の活性化に向けて

地域の特徴や

強みを生かす

質問 当町の特徴や強みは何と考え、誘致したい産業は。

町長 交通アクセスに恵まれ

日常生活の利便性が高い。産業の誘致にあたっては流通業、サービス業、ヘルスケア産業、製造業、飲食業、娯楽業などを考えている。

矢巾町中小企業振興計画

短期的な事業から取り組む



ふじわら しんえつ
藤原 信悦 議員
(町民の会)

質問 本年度から始まった矢巾町中小企業振興計画の具体的な進捗状況は。

町長 「共学・共育・共生の地域づくり」「新事業創出」「地域住民との協働」「地域人材の育成」の4つの重点施策における短期的な事業から着実に取り組みを始めており、目指すべき将来像の実現に取り組んでいる。

質問 取り組みの中で発生した新たな課題はあるのか。

町長 過去に実施した職場内体験事業が町外に流出していた。町および商工会が自主的に窓口となり教育機関と地域企業をつないだことにより、多くの企業が中学生を受入れ、町内での人材育成に係わる連携ができた。

質問 本計画の推進機関となる「(仮)町地域産業育成お役立センター」の運営内容は。

町長 中小企業の強化を図る学びの場の創出、新事業創出などを目指す企業実践への支援、地域住民と地域企業との協働を見据えたマッチングの促進、次世代の人材育成を図るための事業実践の窓口機能を想定している。

農業後継者・人手不足問題

特定地域づくり事業協同組合も

質問 町内の総農家数と経営体の推移および専従者の平均年齢は。また、後継者は。

町長 総農家数は平成17年の1591世帯に対し、令和2年は912世帯の67.9%減、経営体は1461に対し1007減の45.4%となり、農業専従者の平均年齢も65.9歳となっている。
また、昨年度の農業経営に係るアンケートでは、経営体で後



実りの秋 輝く稲穂

継者がいるのは回答1200件中126経営体。後継者はいませんが本人の意向が定まらない経営体は501経営体である。

質問 令和2年に施行された人口急減地域特定地域づくり推進法により、経営体や個人

を組合員とする「特定地域づくり事業協同組合」をつくり、後継者・人手不足に対応することは可能か。

町長 当町は知事認定を受けられる「人口急減地域」となっていないが、取り組みの機運がある時は、課題の洗い出しと話し合いを進める。

不動地区の活性化策は 関係団体との連携で構築



みずもと じゅんいち
水本 淳一 議員
(町民の会)



不動小学校児童の躍動 (不動小学校創立150周年式典にて)

質問 室岡地域の大規模町有地活用の方針は。

町長 第7次矢巾町総合計画後期基本計画において今年度中に総括の予定。

質問 請願のあった町営火葬場の岩清水地区への移転は。

町長 第8次矢巾町総合計画の期間内(令和6年度から令和13年度)に検討する。

質問 子育て世代が農業に参加できる施策を考えては。

町長 農協や不動産地区活性化協議会などと連携し、お互いに方向性を示しながら、最良の活性化策を構築する。

害獣被害対策は 今後も 効果的に実施

質問 有害獣の目撃情報件数および捕獲頭数は。

町長 今年度11月末時点で、クマは47件12頭、イノシシは7件4頭を記録している。

質問 電気柵設置の効果は。

町長 イノシシの目撃情報が減少し人的被害もなく一定の効果はあったが、農作物被害もあり町猟友会の協力を仰ぐ。

質問 住民への注意喚起は。

町長 目撃情報が入り次第、

メールなど可能な連絡手段やパトロールなどで住民への周知と安全確保に努めていく。

魅力的な 音楽のまちは

音楽をより身近に
感じられるまち

質問 音楽のまちとしての今後の取り組みは。

町長 町公民館や矢幅駅へのピアノ設置のほか、田園ホールを中心に音楽祭などのさまざまな事業を催し、進める。

質問 弦楽を志す子ども達に支援し、中学校吹奏楽部を交え、第九演奏会を開催しては。

町長 児童・生徒の負担にならないように学校現場とも相談しながら検討したい。

質問 町内小中学校の楽器が古くなっている。クラウドファンディングなどで新しく購入する考えは。

町長 今後、計画的に楽器の購入を進めていく。

町政に若者の意見反映を 町民懇談会の参加対象拡大



たかはし やすこ
高橋 安子 議員
(町民の会)

質問 大学進学や就職時に地元を離れる若者が多い。小・中・高校時から故郷への思いを培うことが大事であることから、町づくり懇談会などに子ども達を参加させる考えはないか。

また、親子での参加も考えてはどうか。

町長 次代を担う若者の貴重な意見を町づくりに反映させるためにも、町民懇談会の対象を子どもまで拡大して実施を検討したい。

質問 本町の将来を本気で心配し、考える高校生も多いと思う。矢中の将来を考えるフューチャーデザインによるワークショップ開催時に高校生も参加させる考えは。

町長 どのような方法で多くの高校生に関心を持って参加してもらえるか検討する。

マレットゴルフ 熱中症対策は

適切な管理を

実施したい

質問 祝咲喜公園マレットゴルフ場は、町内外から主に高齢者が集い楽しんでいるが、日陰が無いため熱中症などの危険がある。今後の対策は。

町長 公園では、根により防水シートが破損する可能性があり植栽できない。来年度は対策を検討し、みんなが楽しめる公園にする。

質問 さつき公園については、本年、草が生い茂り公園としては利用できない状況だった。住宅地に近いこともあり、適切な管理をして活用するべきでは。

町長 来年度はしっかりと整備し、子ども達が遊ぶ公園として活用したい。



年代関係なく楽しめるマレットゴルフ

町営住宅 活用の考えは

法律に基づき運営

質問 「多世代型高齢者住宅」として、若者と同じ住宅に住み、見守りができる町営住宅に活用できないか。

町長 公営住宅法に基づき運営されるため、難しい。

地域要望に対する対応は 適切な解決に向け対応



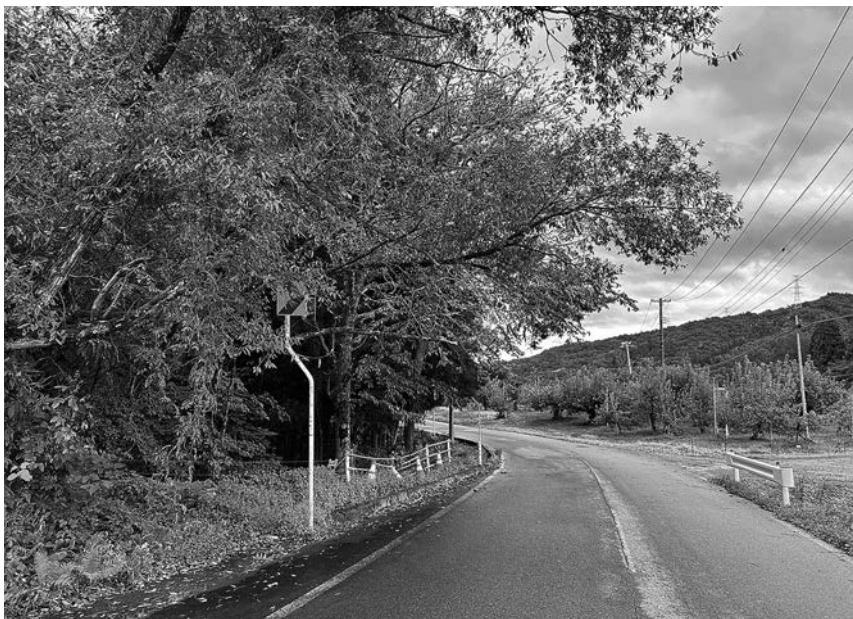
たかはし めぐみ
高橋 恵 議員
(町民の会)

質問 町道について民法第233条の改正で、催促しても越境した枝が切除されない場合など、越境されている土地の所有者が竹木の枝を切除可能と変更されているが町の対応は。

町長 慎重に判断し、土地所有者に連絡。催告しても相当期間内に切除しない場合など、規定により町で切除する。

質問 私有地の草木の切除について、後継者など所在不明で連絡が取れない問題も今後増えてくると思うが対応策は。

町長 所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法に基づき、不動産登記上の所有者情報以外の情報を調査し勧告を行うことが可能。法にのっとり丁寧に対応する。



越境した枝や木が、大型車両などの通行の妨げに (和味地内)

イベント開催時の 熱中症対策は

環境省の指針を参考

質問 高温の時期など、イベント中止の判断基準はあるか。

町長 判断基準は設けていない。今後、参加者や従事者の安全を第一に、基準設定や開催時間帯について検討する。

質問 救急車両の不足や医療体制の逼迫を考え、参加者やスタッフに配慮し、中止の検討はしたのか。

町長 事前に紫波警察署や盛

岡南消防署矢巾分署に協力依頼を行っているほか、テントの設置や応急処置体制を整えたことから中止せず開催した。

消防団員確保は

災害協定締結企業へ 協力を依頼

質問 医療や地域社会分野などに通う学生へ学生消防団活動認証制度をPRし、体験入団してもらい、就職試験の際に必要な書類の自己PRテーマに使用してもらうような仕組みづくりの検討はないか。

町長 専攻する分野など学生の特性を踏まえ、周知を含めた募集広報活動を展開する。

質問 各種訓練時、ファミリーサポート・センター事業の預かりサービスを活用し、かかった実費を負担するなど、参加方法を検討してはどうか。

町長 負担軽減の一環として1月から消防団員処遇改善アンケートを実施。団員と家族の意見を踏まえ検討する。



あかまる ひでお
赤丸 秀雄 議員
(新誠会)

ふるさと納税取り組み強化を 応援いただける やはば に努める



ふるさと納税返礼品に、みずみずしい町産野菜も

本来の趣旨にのっとり、町の魅力を発信し、販路拡大に努める。

質問 少額寄付に町内事業者が開発した山ぶどうサブレーや米粉のスイーツ、米やりんど、野菜の小分け配送など、きめ細やかな対応が必要と考えるがどうか。

町長 提案も含め、やはばを応援する皆様にこれからも丁寧な対応を行い、ふるさと納税に協力いただける体制整備に努める。

乗合バス料金 見直しを 住民の意見を聞き 検討したい

質問 町民から予約型乗合バスの料金が高いという声がある。同乗者がいる時は割り引く制度にしては。

町長 状況を把握のうえ、見直しも含め検討する。

質問 乗合バス利用者に偏り

があり、きめ細かな説明会が必要であると思うが。

町長 説明会も必要と思うが周知方法のあり方なども検討し、利便性向上に努める。

3つの小学校の 老朽化対策は 計画に沿って対応

質問 校舎、プールなど老朽化しているが、町総合基本計画への反映をどう考えるか。

教育長 教育施設長寿命計画で対応していく。

なお、本計画は5年ごとであり、来年度スタート時期であることから、現在策定中である。

質問 町民は小学校の児童数に格差が出ていることを懸念している。どう考えるか。

教育長 好ましい状況と思っていない。

学校通学区域審議会の答申を基に、学校再編に関する基本方針を策定して検討する。

質問 他自治体では返礼品に工夫を凝らし納税額増加を図っている事例があるが、本町の取り組みの特徴は何か。

町長 新たな返礼品を追加する考えと、応援したい自治体を選んで寄付するという制度

ロードヒーティング設置は 凍結防止剤散布で対応



きむら ゆたか
木村 豊 議員
(日本共産党矢巾町議団)



町内でも積雪が多く急勾配で危険な交差点

質問 プロロジスパーク盛岡竣工に伴う車両増加が予測される。冬場の町道西部開拓路との交差点は積雪でスタックする大型車両を見かけることから「ロードヒーティング」化できないか。または、滑り止めの設置はどうか。

町長 現時点で当該交差点にロードヒーティングを設置する予定はない。凍結防止剤の散布を重点的に行うなどの対策を確実に行い、交通の安全確保に努めるとともに、今後の道路交通状況の変化を見極め対応する。

各浄水場の供給 範囲と水質管理

定期の水質検査実施

質問 西部浄水場と東部浄水場の各供給範囲は。

町長 西部および東部の各供給範囲は、基本的に東北本線を境にしており、下矢次地区および駅東地区の一部区域は東北本線の東側であるが西部の供給範囲とし、西部と東部の水量を均衡させている。

質問 おいしい水と感じているが、東部浄水場から水道水が供給されている地域の方から「臭いが酷い」「風呂のシャワーヘッドが詰まる」などの声がある。水質管理は、

どのようになっていくか。

町長 定期の水質検査を実施しており、水質基準値以内である。法令などに基づく検査回数を全て満たし、水質管理上の問題は全くない。安心安全な水道水を供給している。

高齢者の補聴器 購入に助成を

購入助成制度 必要性を認識

質問 難聴は認知症の危険因子として注目されているが、補聴器を使用すると、一部の認知機能の低下を抑制すると聞く。補聴器の購入助成制度を導入できないか。

町長 軽・中等難聴の高齢者の方への助成は現在行っていないが、公的な補聴器購入助成制度の必要性を認識している。本年度6月には、県に対して補聴器購入助成制度創設にかかる要望を行っている。今後も引き続き、国や県に働きかけていく。

持続可能な 農政の実現へ向けて 国に対し強く要望していく



よこさわ しゅんいち
横澤 駿一 議員
(強くやさしい矢巾)

質問 畑地化促進事業を利用し畑地化を進める上で、転換作物などの収益力強化、また持続的な作付けに向けて町としてどのような取り組みを行うのか。

町長 農業者個人はもとより、地域全体の将来的な作付け計画をもとに畑地化促進事業を活用することが必要である。また、この事業における定着支援金が畑地化実施後5年間の交付に限定された条件のため、持続的な作付けに向け、国に対し支援期間を延長するよう強く要望していく。

質問 生産コストに見合った価格転嫁を促進する環境づくりへの取り組みは。

町長 国が行なっている食料・農業・農村基本法の見直しや、今後の社会情勢を注視し、スマート農業、輸出の促進も視野に取り組んでいく。

共生社会への 取り組みは

誰もが活躍できる
取り組みを進める

質問 福祉とスポーツのまちの掛け算で、eスポーツ（電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ）を活用した共生社会の実現に向けた取り組みはできないか。

町長 まずはeスポーツについての知識を習得し、まちづくり出前講座などへの活用を検討していく。

質問 小中学校において活躍している、障がいを持っているeスポーツアスリートとの交流はできないか。

教育長 校長会議などを通じて各校へ情報提供していく。

キャッシュレス 決済導入実績は

町内全事業所の2割

質問 インバウンド需要を見据え、スマホひとつで買いたい物ができる決済インフラの整備促進事業の考えは。

町長 令和3年に行なったポイント還元事業で導入促進を

図り、現在187事業所で導入されている。商工会と連携を取りながら推進していく。

質問 メタバース（仮想空間）を利用した移住定住の取り組みはできないか。

町長 IT人材確保などの課題もあるが、仮想空間上に徳丹城を再現するなど、まちの魅力発信に活かせる実現可能な取り組みを検討していく。



将来の担い手確保へ

子どもの医療費助成 全額無償化を

財政状況から難しい



おがわ ふみこ 議員
小川 文子 議員
(日本共産党矢巾町議団)

質問 医療費助成は18歳、高校卒業まで現物支給となり、子育て支援の主要な柱となっているが、一部負担がある。コロナ感染症・インフルエンザ・風邪など、ひとりが感染すると家族全員に広がり医療費の負担が大きいとの声があることから、一部負担を無くし全額無償化できないか。

町長 外来は750円、入院は2500円の一部負担があるが、3歳未満および住民税非課税世帯の自己負担は生じない。

無償化した場合の費用は約2400万円見込まれるため、財政状況から難しい。

**児童館の
日曜・祝日利用を
ニーズを把握する**

質問 父母の労働環境の変化から日曜・祝日の利用が求められており検討できないか。

町長 令和元年度の調査ではニーズは高くなかったが、本



児童館での楽しい活動 (矢巾東児童館)

年度調査を予定しているため、再度ニーズの把握を行う。

**農作物の
高温被害などは
りんご部会へ補助**

質問 この夏の異常な気温上昇で農作物被害が発生していることから支援策を伺う。

町長 りんごの凍霜被害が大きいため補助を実施する。

質問 畜産農家への支援は。

町長 乳用牛・肥育牛・繁殖育成牛は1頭5千円、繁殖牛成牛・子牛は4頭5千円、豚は6頭5千円、鶏は300羽5千円を申請者に支援。

**ゴミゼロ宣言を
無理なく
施策を積み重ねる**

質問 二酸化炭素の排出抑制とゴミ減量は重要かつ喫緊の課題であり、町民への強いメッセージを発するため、ゴミゼロ宣言できないか。

町長 個別の施策を積み重ね減量意識向上を図る。

質問 本町の令和3年度のリサイクル率は19.3%であるが目標値を設定しているか。

町長 目標値は設定していないが、事業系ごみの資源化の推進を図り、リサイクル率を上げていく。

指定管理者制度の効果は サービス向上と経費削減



よしだ のぶひろ
吉田 喜博 議員
(町民の会)

質問 本町の指定管理者制度の主な導入の目的は、住民サービスの向上と経費の削減である。矢巾町農村環境改善センターおよび田園ホール2施設について、制度により向上したサービス内容と削減された経費は。

町長 本町農村環境改善センターについては、単年度会計に縛られず複数年による安定した運営ができています。削減経費は、委託による清掃作業にかかる経費約30万円の削減と捉えています。
田園ホールについては、受付時間延長や休館日の貸し出しのほか、月1回ペースで様々なジャンルの芸術文化活動が実施されている。

経費の削減では、一元化した人員配置で業務の効率化を図り、直営当時の経費は約9千万円であったが、近年の経費は約5千万円となっており、削減している。

質問 指定管理者選定に際し、本町では非公募による指定が多くみられるが、その理由は。

町長 指定管理者選定に際しては、施設の特徴や規模、機能などを考慮した上で、当該施設の設定目的を効果的かつ効率的に管理運営できる法人や団体については非公募としている。

町史発刊に向け 内容の充実を

誰もが親しめる 町史目指す

質問 町史は、町民が町の歴史を学び、町の魅力を再発見できる資料である。写真などを活用し、興味を引くものとするべきでは。

町長 令和6年度末の発刊に向け、原稿作成や校正を進めている。誰もが手に取り見やすくなるよう、活字だけではなく写真などを含めた内容とし、わかりやすく親しみやすい町史を目指す。

質問 町合併70周年を契機とし、コミュニティの再生を改めて考えるべきでは。

町長 全国に先駆けて昭和55

年に制定した矢巾町コミュニティ条例の価値を、合併70周年を節目として今一度地域の中で再認識していただければ、各コミュニティに働きかけていく。

質問 合併70周年記念にあたり、ドローンで空撮し、希望者に有償配布する考えは。

町長 いろいろ検討しているが、現在の考えはない。



懐かしき、ありし日の我が家 (平成18年空撮)

企業誘致の状況は 応募された事業者を選定中



たかはし けいた 議員
高橋 敬太
(子育ても老後も)

質問 地区計画制度による企業誘致の状況は。

町長 新たに国道4号沿いの2か所に3件、南昌に1件の応募がある。物流関係の企業だが、時機を見て公表する。

質問 ファミレスやカフェを望む声もある。誘致の活動は。

町長 5つの法人と交渉中。

質問 地域資源の活用として、曲家で書道家や日本画の個展開催など、イベントへの貸出や、囲炉裏で鍋を振舞う宿泊体験などは可能か。

町長 一時的な使用ならば、様々な利用が可能である。火の使用は消防法の検討が必要。

質問 宮沢賢治と南昌山も、

もっと活用できるのでは。

町長 PRしていきたい。

質問 プロロジスと協同でまちづくりを行っている自治体もあるが、本町での連携は。

町長 確定ではないが太陽光を利用して水素を作り、それを資源とするまちづくりを協同で行うことを検討している。実現すれば岩手県内初である。

一般質問 町政を問う

質問 道の駅構想の状況は。

町長 財政負担も大きく、一担取りやめる。今後は盛岡南道路の状況を見極め、新たな展開が出たら、再び検討する。

持続可能な

農業への対策は

担い手確保へ支援

質問 まずは安心して働ける環境づくりが先決ではないか。

複数地域で法人化へ取り組み、福利厚生充実や人材確保に努めてはどうか。

町長 地域のしがらみなどがあり、後継者への代替わりで解消を見込んでいる。

質問 「サンやば」が農地集約のモデル地区となり、推進されてきた。他地域にしっかりと展開されているのか。

町長 白沢地区において取り組んでいる。

病児保育の

実施は

前向きに進めたいが

難しい

質問 保護者のみならず、保育所からの要望もある。本町でも選択肢の1つとして整備することが子育てに優しいまちとなるのではないか。

教育長 医療機関併設型が一番安心であるため、町内小児科と協議してきたが、難しい。



企業誘致による雇用先の確保と活性化に期待



総務常任委員会とは

主に、総務課・未来戦略課・企画財政課・税務課・町民環境課・選挙管理委員会の行う事項について調査研究し、その課題に対応します。

委員紹介

高橋安子委員長、赤丸秀雄副委員長、高橋敬太委員、ササキマサヒロ委員、齊藤勝浩委員、廣田清実委員

安全安心なまちづくり

総務常任委員会の今期のテーマは、「公民連携で自治振興による安心安全なまちづくり」。10月16日から18日にかけて先進地を視察し、課題解決の糸口を探りました。

新潟県見附市

コンパクトシティ

持続可能性、今後のカギは

新潟県見附市は現在、超高齢化・人口減少を克服するスマートウェルネス都市のモデルとして、国からの助言を受けつつ持続可能な都市・地域の形成に取り組んでいる。

健康維持の意識浸透

少子高齢化社会への対策を20年前から着手。大前提に「市民の健康維持」を掲げ生活圏の配置変更やインフラ整備、公共交通の運行手段など役所



が行う事業コンセプトは「全て市民の健康」で意思統一されていた。この意識維持を図ることにより社会保障費の大幅な減額に成功したエビデンスが示された。当町でも早期に取り組むべき事案である。

新潟県三条市

意識と備えの大切さ

新潟県三条市は2度の水害を経験。過去の教訓から災害意識と備えの大切さを、この水防学習館で伝えている。

水害忘れず、学ぶ

新潟県三条市は2度の水害を経験。過去の教訓から災害意識と備えの大切さを、この水防学習館で伝えている。



啓発活動の充実

近年、度重なる豪雨災害に見舞われたことにより有事対応の見直しを実行。河川堤防の改良増設と人命救助第一の設備配置、そして危険体験施設の常設を行った。この啓発活動の充実が当町でも参考にすべき取り組みである。

神奈川県藤沢市①

リサイクルで環境保全

町民の意識を変える

リサイクルプラザ藤沢と北部環境事業所を見学。リサイクル意識を向上させる取り組みを学習した。

循環型社会確立へ

更なる3Rの確立に向けた分別回収の徹底慣行のため、市内に集積場を設けず自宅前排出回収を実施。新設された焼却炉においては、発電設備を有し年間億単位の売電を行い財源へ充当。発電した電力は無料で市民マイカーへの電源供給も行っていた。当町でも脱カーボン対応の3Rの強化取り組みを加速実行すべきと考える。



神奈川県藤沢市②

地域コミュニティとの

連携が不可欠

ノビシロハウス亀井野は、アパート・コミュニティスペース・地域医療の拠点のひとつになったユニークな『ごちゃまぜアパート』。支えあえる居場所、地域づくりの方向性を学習した。

新しい世代間コミュニティ

世代間の多様な考えを捉え、空き家対策と掛け合わせた居心地の良い居住空間確立を目指した施設運営の結果、入居者全員が満足する空間が確立された。この新しい形のコミュニティ構築成功事例は当町でも参考とすべき取り組みである。

産業建設常任委員会

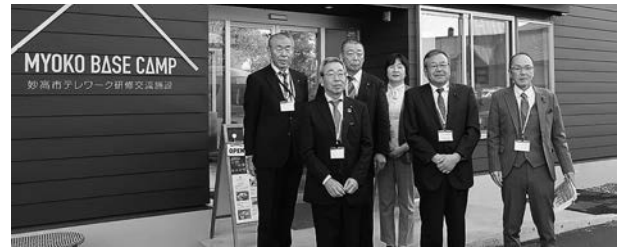
空き家の可能性を創造する

産業建設常任委員会とは

主に、産業観光課・道路住宅課・上下水道課・農業委員会の行う事項について調査研究し、その課題に対応します。

委員紹介

吉田喜博委員長、藤原信悦副委員長、木村豊委員、小笠原佳子委員、山本好章委員、村松信一委員



地域産業・経済の活性化

産業建設常任委員会の今期のテーマは、「地域産業・経済の活性化を図り移住定住を促進するまちづくり」。10月23日から25日にかけて先進地を視察し、課題解決の糸口を探りました。

新潟県佐渡市

相談・体験・移住

「気軽にできる」を目指す

人材創出社会を目指し、多様な人材・企業が活躍できる「企業の島」と、気軽に相談・体験・移住できる「移住の島」の実現に向け、空き家現況調査を実施し、今後の利活用・対策の検討、計画の見直しなどを進めている。

地元集落と連携し、活用要望のあった民間空き家を定住



体験住宅にしたり、地元商店街にある民間空き家をITベンチャー企業の拠点に生まれ変わらせたりするなど、先進的事業の実情を学んだ。

後継者育成の工夫

I・Uターンにより移住安定が図られ、空き家対策にも応用しつつ関係人口が増加し、後継者育成に拍車がかかるような工夫がされていた。

新潟県妙高市

仕事と観光を掛け合わせ

新たな地方創生を

新潟県妙高市にあるテレワーク研修交流施設「MYOKO BASE CAMP」を見学。仕事と観光の要素を取り入れたワーケーションや、副業人材と市内事業のビジネスマッチング、安心して働ける環境の創出とテレワークの



普及拡大による働き方改革の推進を図り、「ひと・しごと」の好循環を生み出している。

今ある資源を活かして

「しごと+観光」「研修×自然体験」は現代では重要な考え方である。今ある資源を活用しながら、誰もが安心して働ける環境を整えることで産業振興が活性化するのではな

新潟県上越市

地域に根差した活動

農業の働き手を確保

新潟県上越市の清里区では、特定地域づくり事業協同組合「星の清里協同組合」が令和



4年4月4日に設立、同年5月16日に認定された。中山間地域に位置する清里区は、棚田での稲作も多く、高齢化に伴う働き手確保の仕組みづくりなどの課題解決に取り組んでいる。他分野事業者との連携を視野に入れ事業拡大を目指しており、今後も地域に根差した活動継続を期待する。

広域での協同活動が必要

将来にわたり農業を産業として成り立たせるためには、特定地域づくり事業協同組合にとどまらず、広域での協同活動は避けられない。また、若者が魅力を感じる農業政策が必要と考える。

子どもの未来を応援

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会とは

主に、福祉課・健康長寿課・文化スポーツ課及び教育委員会の所管に属する事項について調査研究し、その課題に対応します。

委員紹介

小川文子委員長、水本淳一副委員長、高橋恵委員、横澤駿一委員、昆秀一委員、谷上知子委員

子どもにも焦点を当てて

教育民生常任委員会の今期のテーマは、「子どもから高齢者までしあわせに生きる環境整備」。10月31日から11月2日にかけて先進地を視察し、課題解決の糸口を探りました。

兵庫県相生市

「11の鍵」で

人口減少に歯止め

兵庫県相生市は現在、子育て・定住施策としてさまざまな事業を展開しており、その中でも特徴的な事業を「11の鍵」として実施している。
無償・無料化が課題
相生市では、子育て・定住の手厚い支援が行われているが、中でも高校生までの医療費無償化、給食費の無料化は兵庫県全体で進んでいる。

大阪府門真市

セーフティネット強化

子どもの未来を応援

本町においても実現に向けて取り組むべき課題である。

奈良県葛城市

AI活用し

子どもの相談体制構築

大阪府門真市は、支援の必要な子どもがもれなく救われるよう、セーフティネットの強化を目的に「子どもの未来応援ネットワーク事業」を実施。子どもの未来応援団員の育成や子どもの未来応援チームを立ち上げ、子どもの貧困対策に力を入れている。
子どもの可能性を広げる
子どもの健全育成に積極的なことが強く印象に残った。支援を必要としている人を早期発見し、対象者に応じたサポートの更なる構築を図り、子どもの可能性を今以上に広げられるよう、本町でも取り組まれない。

切れ目ない支援と関わりを

AI相談室を運営する葛城市子ども・若者サポートセンターは、福祉と教育が協働している組織で、教育委員会から独立し福祉的観点から設置され、多くの臨床心理士が在



“議員をより身近な存在に感じた”

町民の思い受け止め より良いまちに

町民と議員との関係を深め、より良いまちづくりや議員活動の理解促進につなげるため「町民と議員をつなぐ会」を11月11日、12日に開催。両日あわせて計23人が集まり、議会や議員に関することや住みよい町にするための意見など、多くの町民の声を聴くことができました。



11月11日 (土) やはば一くでの様子

はじめての参加者

全体の約半数に

2日間合わせて、初参加の方が11人となり全体の約半数を占めました。また、20代や40代の方、女性の参加もみられ、さまざまな方からの議会や議員への関心が感じられました。

アットホームな

感じがよかった

参加者が回答したアンケートの意見欄には「時間がもう少しあれば」「アットホームな感じがよかった」「意見はできる限り実現してほしい」など、肯定的な感想や議員への期待が多く寄せられました。



11月12日 (日) 矢中町公民館での様子



つながり、大切に

今後の活動に生かす

今回からタイトルを「町民と議会との懇談会」から「町民と議員をつなぐ会」として開催しました。

4月の改選により若い議員が増えたこともあり、子育て中の若い方の参加も多く、子ども達が遊ぶ公園の整備や遊具の充実についての意見をいただきました。

年配の方からはデマンド交通などについての要望や利便性についての問題提起があり、他にはボランティアについて、参加しやすい環境をつくるべきとの意見や、子ども達に本町の昔を映したフィルムを見せてはどうかなど多くの意見が出され、町民の方々の熱い思いが伝わりました。

私たち議員は、町民の声を町政に活かすのが一番の仕事。ご意見は今後の議会活動に反映させていただきます。

広聴分科会副委員長

高橋 安子



議会を傍聴して



たかだて ちえこ
高館 千枝子さん
(西徳田2区)

国会が、与党の政治資金問題で揺れる中、本町議会の正当性を案じていた矢先、傍聴の機会があり、12月8日に傍聴しました。特に印象的なことを記述します。

まず、質問する議員が町民の意見を真つすぐに受け止め、高い問題意識で質問する真摯な姿勢に尊敬の念を抱きました。中でも、生命の存続に必要不可欠な「水質の安全」や「農業問題」に関する町の政策の現状解決を求める質問に対し、国や県の壁に阻まれ、解決しようにも前に進めないことが多々あるという町長の答弁に胸が締め付けられました。

今回、ある若手議員は、インクルーシブ教育に対する「町民の意識改革」を訴えておりましたが、私は、政治の根幹を担っている国会議員に対し「使命感」あふれる「意識改革」を強く望みます。

道路破損の通報は「やはナビ」で！ ～アプリに機能が搭載されています～

アプリのダウンロードはこちら



iOS端末の方



Android端末の方

令和5年12月4日にリリースされた、住民総合ポータルアプリ「やはナビ！」には、道路破損を通報できる機能が搭載されています。

現在は

令和4年6月会議

質問 道路破損による事故を未然に防ぐため、住民から派遣連絡を目的とした「道路管理通報システム」を構築する考えは。

回答 システム構築には多くの経費がかかる。パトロールを強化し早期把握、早期対応に努める。

追跡

過去に質問したことがどうなっているのか調査しました。

あの質問はどうなった



アプリの操作イメージ

まちの人



20周年オカリナ合奏団

オカリナ合奏団あぜみち

主宰 ^{たか}高 ^{はし}橋 ^{じゅん}純 ^こ子 さん (南矢幅1区)

音楽は最良の友

幼稚園登園前に聴いていた15分間のラジオ番組『うたのおばさん』。平日の朝、その多くがこの番組のために作られた歌を、安西愛子と松田トシが歌いました。

詩はまだ・みちおやサトーハチロー、曲は中田喜直、團伊玖磨、芥川也寸志などそうそうたる詩人や音楽家たちにより、終戦直後の子どももの音楽文化教育のために作られたというのは大人になってから知ったことですが、この番組がきっかけで私は音楽に目覚め、それはその後の私の人生にいつも寄り添ってくれる最良の友となりました。

この番組で生まれた『ぞうさん』『やぎさんゆうびん』は今でも私の大好きな曲であり、年に数回開催している『ひとりライブ』でも時折演奏メニューに載せています。

27年ほど前にオカリナとの縁ができ、主宰しているオカリナ合奏団は昨年開設20周年を迎えました。

オカリナは県内では特にシルバー世代に人気があり、演奏を楽しもうとする人たちが増えました。他の楽器に比べて軽量・コンパクトで持ち運びし易く、価格も手頃（かなり高額のものもありますが）、何といてもその音色が癒しをもたらすというところが人氣の秘密なのでしょう。

ところがいざ始めてみると、思うように音が出ない、息が続かないなどの難題に直面します。侮るなかれ、オカリナは単純な作りだからその難しさ、奥深さがあるのです。ちょっとしたコツをお教えし、聴く人にも奏者本人にとっても「癒しの音色」を奏でられるようにお手伝いをするのが私の役割となっています。

あしがき

今回の議会だよりでは各常任委員会の視察研修報告を掲載しました。それぞれ、課題の解決に向け先進地の取り組み事例を参考に、研修の成果が得られるよう懸命に取り組んでいます。今後も議会活動を分かりやすく伝える紙面づくりを心掛けてまいります。

編集委員 高橋 恵

表紙によせて

小正月を彩る伝統文化のみずきだんごづくりが上赤林行政区の子ども会活動で行われ、子どもたちは、五穀豊穡・無病息災などの願いを込めながら楽しんでいました。

発行・編集責任者 議長 廣田 清実

編集委員

委員長 藤原 信悦
副委員長 小笠原佳子
委員 高橋 恵
高橋 敬太
ササキマサヒロ

